

# はぐくみ

平成 28 年 8 月 29 日発行 No.81

<http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-hym/index.html>

## 「チームとしての学校」

学校における教育諸課題の解決のために、組織的な取り組みが重要である事はいまでもありません。ふれあい訪問等を通じ、各校の具体的な取り組み状況をうかがうことができました。改めて、中教審の答申（H27.12）、次期学習指導要領改訂にむけての「論点整理」（H27.8）から、組織（チーム）としての対応の必要性について整理してみました。

- これからの子供たちに必要な資質・能力の育成
  - ・「社会に開かれた教育課程」
  - ・アクティブ・ラーニングの視点による授業改善
  - ・カリキュラムマネジメントを通じた組織運営の改善
- 複雑化・多様化した課題
  - ・効果的に対応できる体制の整備

【中教審「論点整理」H27.8】

## 「チームとしての学校」

（教職員の組織的対応、保護者・地域との連携、教職員の協働）

<具体的な改善方策>

- 専門性に基づくチーム体制の構築
  - ・教職員の指導体制の充実等
  - ・教職員が価値観を共有（合意形成）した中での「同じ尺度（スタンダード）」による指導
- 学校のマネジメント機能の強化
- 教職員一人ひとりが力を発揮できる環境の整備

【中教審答申「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策」H27.12】

## AL 外的なアクティブから内的なアクティブへ

アクティブ・ラーニングの視点による授業改善を進める上で、教師は、「参加できない子どもはいないだろうか。」  
 「発話や動きが多いように見えても、内容的に深まっていないことはないか。」といった点に留意して行く必要があります。

<外的なアクティブ>

外から見て能動的に活動しているような状態



<内的なアクティブ>

静かに本を読んでいる、話を聞いている  
 = 頭の中は積極的に動いている状態

### ◆◆指導主事学校訪問要請◆◆

月・日	学校名	形態	教科等	研究内容等
9月7日	富士見小	研究授業	算数	5学年 比べ方を考えよう(単位量あたりの大きさ)
9月7日	春日居小	学習会	特別支援	生活単元学習「やまゆり劇場を成功させよう」の指導案検討
9月12日	御坂西小	研究授業	算数	5学年 整数の性質を調べよう・第7時「倍数」
9月16日	春日居小	研究授業	外国語	英語強化地域拠点事業公開授業(10月19日)に向けて 4学年 外国語活動 Hi, friends! 1 Lesson8 「I study Japanese.」
9月21日	塩山北中	研究授業	国語	2学年 「字のないはがき」

## ◆◆平成 28 年度授業改善プラン実践事業◆◆

学力向上に向け、県内 16 の推進校において、「授業改善プラン実践事業」による研究・実践が進められ、最終年度を迎えております。峡東教育事務所管内の推進校及び授業研究会・内容は、下記に示したとおりです。各校で、研究会への参加体制等を整えていただき、多くの先生方がご参加できるようにお願いいたします。

学校名	研究主題	授業研究会	内容
塩山南小学校	確かな学力の定着を目指した授業改善の工夫 ～学ぶ楽しさや分かる喜びを味わえるRPDCAサイクルを通して～	1月27日(金)	○単元を通して身に付けさせたい力と指導内容を明確にした授業づくり ○アクティブラーニングの要素を取り入れ、言語活動の充実を意識した授業づくり ○学級の実態に応じた指導過程の工夫 国語1年,2年,3年,6年 社会4年,5年
山梨北中学校	確かな学力の向上をめざす学習指導に関する研究 ～思考・表現活動の充実による授業改善～	11月2日(水)	国語2年「古文」 社会3年 ※単元未定 数学2年「関数・図形」 理科1年「状態変化と粒子の運動」 英語1年「Unit8 イギリスの本」
石和南小学校	一人一人の確かな学力の向上をめざして ～課題分析による授業の工夫改善を通して～	10月19日(水)	算数2年「新しい計算を考えよう」 算数3年「はしたの大きさの表し方を考えよう(小数)」 理科4年「とじこめた空気と水」 理科5年「電流が生みだす力」
春日居中学校	「生きる力」を育む授業の創造 ～意欲的に学習する生徒の育成を目指して～	11月14日(月)	国語3年「読むこと領域」 社会3年「公民分野」

## ◆◆初任者研修企業等体験研修◆◆

初任者研修企業等体験研修が、8月5日(金)、甲州市勝沼町菱山の(有)ぶどうばたけ・菱山中央醸造において行われました。この研修会では、「企業の体験研修を通じて広く職業や社会に対する認識を持ち、職業人としての自覚をさらに高めること」とともに、「峡東地域の産業としての果樹栽培の状況や現場を、実際に体験してふれることによって、それを教材に生かしていくことや地域と教育の関連性などについて実践的な研修をすること」を目的としており、これまでの研修や教育活動を違った視点から見つめ直す貴重な機会でもありました。

研修会においては、青デラ(醸造用のデラウェアぶどう)の収穫体験、ワイン醸造の現場見学、そして、「農業から教育を学ぶ」と題した講演を拝聴いたしました。

参加された初任者の皆さんの感想としては、「農作業の大変さを実感する中で、ぶどう栽培やぶどうを核とした2次・3次産業への情熱・熱意及び創意・工夫などを学ぶとともに、自らの教育活動に生かしていきたい。」「峡東地域や山梨県の主要な産業であるぶどう栽培やワイン醸造について得た知識を授業に生かしていくと共に、この歴史などを含めて子供たちが誇りを持てるように伝えていきたい。」といったことが寄せられました。この研修の目的がしっかりと果たせたのではないかと思います。(有)ぶどうばたけの三森ご夫妻をはじめ、スタッフの皆様、本当にありがとうございました。



## ◆◆第1回十年経験者研修 教科指導(必修4)研修会◆◆



「第1回十年経験者研修 教科指導(必修4)研修会」が、8月23日に東山梨合同庁舎103会議室で行われました。今回の研修会では、受講者が「学力向上」に関する各自のレポートを持参し発表・協議を行うなかで、指導力の向上を図ることを目的に実施しました。

どの受講者もグループ協議、全体発表、全体討議を通して、他の教職員から積極的に学んでいこうとする姿勢が見られ、有意義な研修会となりました。

教職経験10年目という時期は、校内での役割や責任が増大するばかりか、教育活動の様々な場面で中堅職員としての活躍が期待されるようになります。一つの節目を迎えた今、子供たちの笑顔のために、そして、教員としてのさらなる資質向上のために、同じ喜び・悩みをもった同年代教職員との交流・協議を

を通して、より多くのことを学び取ってもらいたいと思います。